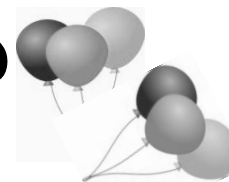


私たちの
名張

どんな街をつくっていく？



—すみよい名張市をめざす懇談会 9月の案内—

と き **9月25日(日) 午後3時～5時**

ところ **武道交流館 いきいき : まちづくり交流室**

て—ま
①名張市下水道問題、これまでのまとめ報告(阿知羅代表から)
②小中学校の統廃合と小中一貫校導入問題(地域の父母から)



8月例会の報告

どなたでもお気軽にお出でください。お待ちしております。(会場費等のため100円ご用意ください。)

8月21日の懇談会は、「名張市立小中学校規模・配置適正化後期実施計画」をテーマに父母、市議員、教育研究者の方々からの発言をいただきながら話し合いました。1時半から5時ぎりぎりまでの長時間、28人の参加でした。

- 「統合・校区再編」案で行けば、子どもたちはどのケースも、今以上に時間をかけて車の多い危険な通学路を通うことになる。
- 「案」が示す規模も配置も「適正」と言えない。“桔梗”のように統合して小中一貫のマンモス校をつくることは「WHO勧告」に逆行する。
- 教育面より財政面からの「適正化」ではないか。
- 名張の場合は「統廃合」先にありき、教育委員会の言う「小中一貫」導入の目的、「中一ギャップの解消」や「切磋琢磨」に説得力はない。
- 背景に財界の動き、教育の規制緩和、根幹に行財政と教育の構造改革。
- 地域から学校が消えて行けば、まちづくり、防災の拠点、原風景はどうなる？ 何より子育て中の若い人たちが地域から出ていく。

などなど、「学校統廃合と小中一貫校導入」の問題はこれからの名張市にとって重要な問題だということがわかりました。

今後も懇談会のテーマとして取り上げていきたいと考えています。(文責・松本)